

報道関係者 各位

放送批評懇談会



発表！2021年12月度ギャラクシー賞月間賞

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで59年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2022年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2021年12月度ギャラクシー賞月間賞

水曜ドラマ「恋です！～ヤンキー君と白杖ガール～」

10月6日～12月15日放送 22:00～23:00 日本テレビ放送網 日テレ アックスオン

感動路線一択と思われた視覚障害の題材を、とびきりのラブコメディで見せた快作。一步間違えば不謹慎と背中合わせの挑戦。いい原作のもと、脚本、演出、俳優が志をひとつにし、恋をした若者の馬力と輝きを画面いっぱい届けてくれた。弱視のヒロインの「見えない」世界を可視化した演出も物語をアシストした。

理想本箱 君だけのブックガイド**「もう死にたいと思った時に読む本」「同性を好きになった時に読む本」**

12月9日、16日放送 22:55～23:20 日本放送協会 オッティモ NHKエデュケーショナル

それぞれの本の特色に合わせて趣向を凝らした「映像の帯」が素晴らしい。活字メディアと映像のコラボとしても効果的で、これまでの書籍紹介番組とははっきり一線を画している。多彩な才能が腕を競える「Eテレ」というユニークな教育、教養の舞台を持つ幸せを感じた。押し付け感のないスタジオも魅力。

金曜ドラマ「最愛」

10月15日～12月17日放送 22:00～22:54 TBSテレビ TBSスパークル

毎回、緊密な構成と吉高由里子、松下洸平、井浦新のそれぞれに繊細な演技に引き込まれ、息を止めて見てしまうほどだった。奥寺佐渡子、清水友佳子の脚本のうまさに加えて、過去と現在という時間を行き来するドラマを得意とする塚原あゆ子の安定の演出は、情感豊かで、とんでもなく完成度の高いドラマを作り上げた。

BS1スペシャル「歩兵第11連隊の太平洋戦争」

12月19日放送 22:00～23:50 日本放送協会 テムジン

太平洋戦争開戦80年に当たる12月、見応えのある戦争関連の番組が並んだが、なかでもこの番組は中国侵略から始まった日本の戦争の本質に迫る視点と内容を備えた傑作。マレー半島に進軍した歩兵第11連隊の人々の証言が戦争の真実を明らかにしている。戦争体験者が語る貴重な証言の蓄積が生かされ、われわれに迫ってくる。

★詳細は月刊誌「GALAC」2022年3月号に掲載します